



メモ.txt.zip,mathlibre2018-vmware.txt.zip

mathlibre 2017 を flash memory へインストールするとネットワークがうまく動作しない場合がある.

```
/sbin/ifconfig -a
```

するとデタラメな IP アドレスが設定されていたり、何も設定されていなかったりする. そこで wicd を捨てることにしたらどうやろうまくいってる模様.

```
sudo su -  
/etc/init.d/wicd stop  
ifconfig eth0 10.1.204.222 netmask 255.255.0.0 broadcast 10.1.255.255  
route add -net 10.1.0.0 metric 1 netmask 255.255.0.0 eth0  
route add -net default gw 10.1.254.254
```

上のアドレスは環境にあわせて適宜変更.

```
cd /etc/init.d  
mkdir ../init.d.available  
mv wicd ../init.d.availabe
```

で野蛮に wicd が起動しないようにしておく.

```
search math.kobe-u.ac.jp  
domain math.kobe-u.ac.jp  
nameserver 10.1.254.3
```

と /etc/resolv.conf に書く.

```
apt-get update  
apt-get install network-manager  
/etc/init.d/network-manager start
```

再起動. だめならもう一度再起動.

wicd を消してしまうのもいいかも.

```
apt-get remove wick  
apt-get remove python-wicd
```

トラブルシュート.

1. IP address?

```
/sbin/ifconfig -a
```

でうまく動いてるか確認.

2. ps

```
ps axuww | grep Net
```

でそもそもネットワークマネージャが動いてるか確認.

3. root になって,

```
ping www.math.kobe-u.ac.jp
```

4. 名前を知らないといわれる.

```
/etc/resolv.conf
```

の内容は正しい?

5. network unreachable になる.

```
route
```

で見える routing table は正しい?

その他メモ.

1. 時刻設定

```
sudo su - ; ntpdate ntp.nict.jp
```

2. nslookup

```
apt-get dnsutils
```

obsolete な nslookup を使いたいとき.

3. caps lock と ctrl の入れ替えは tray の左グループの右.

4. nm-applet は


```
apt-get install network-manager-gnome
```

5. todo, wicd を tray から消したい. network-manager の control panel を表示したい. network-manager-gnome をinstall? /etc/??/autostart/*? systemctl って何?

6. /usr/lib/NetworkManger/nm-dispatcher.action とは? nm-applet --smdisable とは, LXDE

tk/2017-04-27.txt · Last modified: 2018/08/30 05:50 by 133.30.64.210

1 OS の書き込み

1. 4GB 以上の USB メモリーディスクを用意します。(8GB 以上推奨)
2. MathLibre DVD を起動します。
3. USB メモリーディスクを接続します。
4. USB メモリーを接続した時、自動マウントしようとするのでキャンセルしてください。
5.  端末でどのデバイスを利用しているかを調べます。

```
ls -l /dev/disk/by-id | grep usb
```

6. /dev/sdb が USB メモリーディスクとします。
7. これ以降の命令は root 権限で実行します。

```
sudo -s
dd if=/dev/sr0 of=/dev/sdb
```

◎ 一般に /dev/sda は内蔵 HD に割り当てられていますので、十分に注意してください。

2 継続的保存領域の作成

fdisk を用いて継続的な保存領域を作成します。すでに /dev/sdb1 は作成されているので、その後ろに新たな領域 /dev/sdb2 を作成します。

1. fdisk を用いて /dev/sdb のパーティションテーブルを作成します。

```
fdisk /dev/sdb
```

```
GNU Fdisk 1.2.4
省略
Using /dev/sdb
```

2. テーブルを表示 (print) します。

```
Command (m for help): p
```

```
Device    Boot Start End  Blocks  ...
/dev/sdb1 *    1   1021 3838944  ...
```

3. 新しい (new) パーティションを追加します。

```
Command (m for help): n
```

```
Partition type
 e   extended
 p   primary partition (1-4)
```

4. プライマリパーティションを選択します。

```
p
```

5. /dev/sdb1 の後ろからパーティションを作成します。(/dev/sdb1 の End が 1021 であることに注意)

```
First cylinder (default 0cyl):
1022
```

6. Enter で最後まで作成します。

```
Last cylinder or +size or +sizeMB
or +sizeKB (default 2030cyl):
```

7. パーティションテーブルを表示して確認します。

```
Command (m for help): p
```

```
Device    Boot Start End  Blocks  ..
/dev/sdb1 *    1   1021 3838944  ..
/dev/sdb2          1022 2031 3793840  ..
```

8. ディスクに書き込み (write), 終了します。

```
Command (m for help): w
```

9. 作成した領域に persistence という名前をつけてフォーマットします。

```
mkfs.ext4 /dev/sdb2 -L persistence
```

10. 設定ファイルを /dev/sdb2 に作成して完成です。

```
mount -t ext4 /dev/sdb2 /media
echo "/ union" > /media/live-persistence.conf
umount /media
exit
```

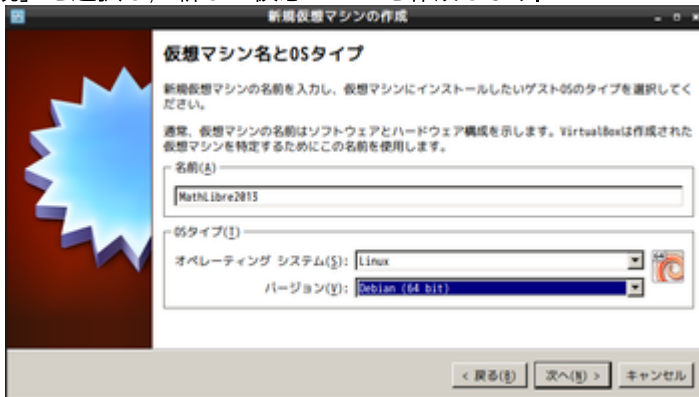
MathLibre/Debian/2013/VirtualBox

<http://www.mathlibre.org/wiki/index.php?MathLibre%2FDebian%2F2013%2FVirtualBox>

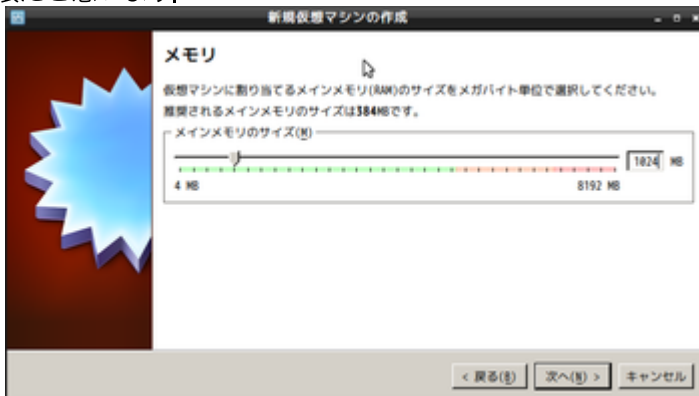
[MathLibre/Debian/2013](#)

MathLibre on VirtualBox [±]

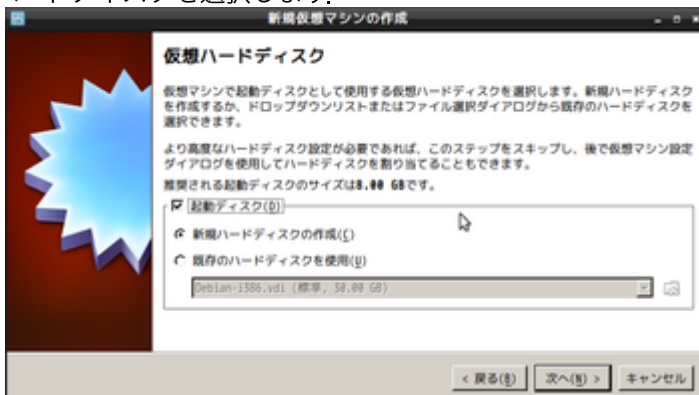
- [オープンソースソフトウェア](#)の仮想環境 [VirtualBox](#) で [MathLibre](#) を利用します。Windows, MacOS, Linux どの環境でも容易に利用することができます。
 - DVD からの起動は速度が遅いので、ISO イメージを利用した仮想マシンを構築します。ISO イメージは [MathLibre/Download](#) からダウンロード可能です。
1. <https://www.virtualbox.org/wiki/Downloads> より利用しているホストOS(Windows, Mac, Linux)に適した [VirtualBox](#) をダウンロードします。
 2. 適宜、展開をしてインストールを行います。
 3. [VirtualBox](#) を起動します。
 4. 「新規」を選択し、新しい仮想マシンを作成します。



5. 仮想マシンに割り当てるメインメモリのサイズを指定します。1024MB以上を推奨します。実メモリの半分程度が上限だと思います。



6. 仮想ハードディスクを選択します。



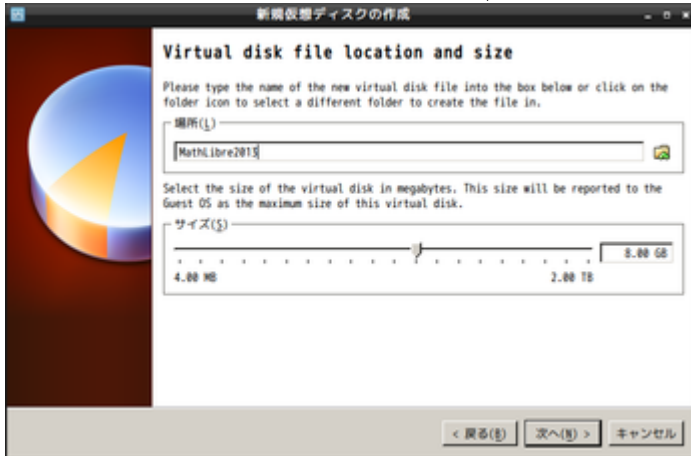
7. [VirtualBox](#) Disk Image を選択します。



8. 仮想ディスクを動的に確保します。



9. 仮想ディスクのサイズを8GBとします。(もし、インストールを行うときは20GB以上に設定してください。)



10. Create ボタンを押して仮想マシンを作成します。





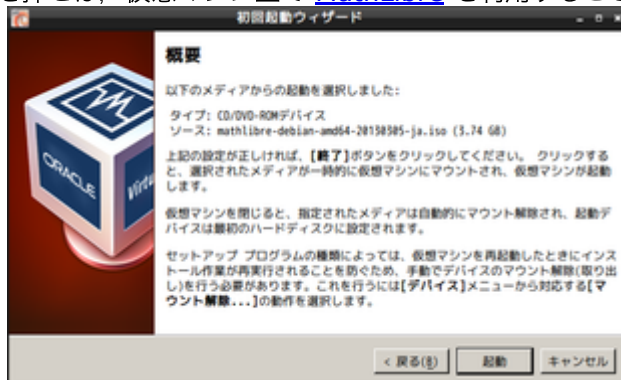
11. 仮想マシンを選択して「起動」します。



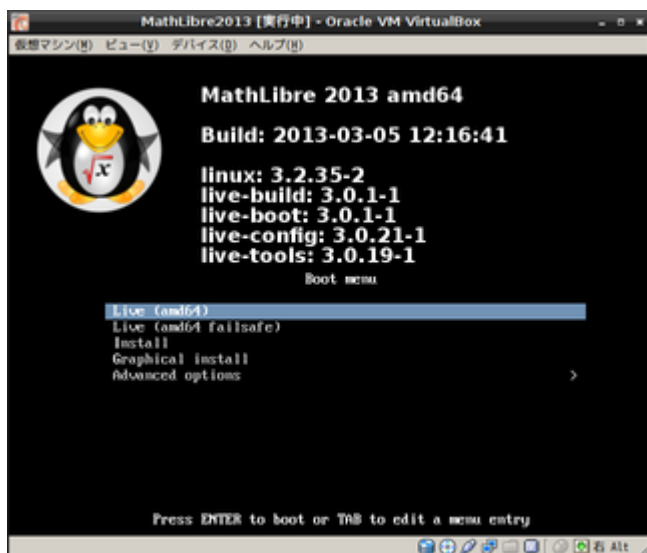
12. インストールメディアとして、mathlibre-debian-amd64-*.iso を選択します。



13. 起動を押せば、仮想マシン上で [MathLibre](#) を利用することができます。



14. 起動画面



15. 起動後に、仮想ディスク上で [MathLibre/Debian/2013/USB](#) と同じように継続的な保存領域を作成すれば、ホームディレクトリの継続的な利用や、追加のインストールが可能です。
- 本格的に使いたい場合には、仮想ディスクの容量を20GB以上確保して、起動画面からインストールすることも可能です。

Last-modified: 2015-01-09 (金) 18:44:24 (1579d)

Site admin: [Tatsuyoshi HAMADA](#)

PukiWiki 1.5.0 Copyright © 2001-2006 [PukiWiki Developers Team](#). License is [GPL](#).
Based on "PukiWiki" 1.3 by [yu-ji](#). Powered by PHP 5.4.45-0+deb7u14. HTML convert time: 0.026 sec.